



Matsumoto KiYoshi
Holdings



株 主 の 皆 様 へ

第 4 期 報 告 書

平成22年4月1日 ▶ 平成23年3月31日

あなたにとっての、いちばんへ。

1st for You.

目次

P1	トップメッセージ
P5	グループネットワーク
P7	東日本大震災について
P8	社会貢献活動
P9	トピックス
P10	PB商品のご紹介
P11	連結財務諸表
P13	株式に関するご案内
P14	株式の状況・会社概要

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス
証券コード：3088

株主の皆様へ

株式会社マツモトキヨシホールディングスの第4期業績のご報告並びに第5期以降の取り組みについてご説明するにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。株主の皆様の平素のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

平成23年3月に発生いたしました東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは一日も早い被災地の復興に向け、今後も支援活動を行ってまいります。

代表取締役会長兼社長

松本 南海雄



第4期(平成23年3月期)の業績について

お客様ニーズを捉えた品揃えの拡充、専門性・利便性の強化などに取り組んだことにより、増収増益となりました。

当連結会計年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)における日本経済の状況は、新興国向け輸出の拡大や政府の景気刺激策などにより、緩やかながらも総じて回復基調にありましたが、依然として雇用・所得環境は厳しく、消

費者の低価格・節約志向は根強く、個人消費も低調に推移いたしました。また、平成23年3月に発生した国内観測史上最大の「東日本大震災」は、想定を超えた津波によって東北・関東地方に甚大な被害、計画停電等による経済活動へ大きな影響を与えました。

ドラッグストア業界におきましても、前述のような経済環境・影響から消費マインドの冷え込みはもとより、先行き不透明な状況下にあり、天候要因からシーズン商品や花粉飛散量の増加に伴い関連商品は拡大したものの、依然として厳しい状況が続いております。

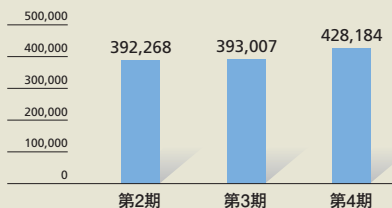
このような環境に対処するため、グループ経営理念である「1st for you. あなたにとっての、いちばんへ。」を基本として、専門人材(薬剤師・登録販売者・ビューティケアアドバイザーなど)によるカウンセリングサービス体制の強化、節約・価格志向に対応したMKカスタマー(プライベートブランド商品)をはじめとした魅力ある商品展開、地域環境・顧客志向を捉えたきめ細かな品揃え、効率的かつ効果的な販売促進活動など、常にお客様の視点にたった各種施策を推進

してまいりました。

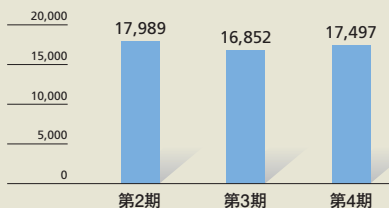
その結果、当連結会計年度の売上高は4,281億84百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は154億91百万円(同3.9%増)、経常利益は174億97百万円(同3.8%増)となり、今期より資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額及び東日本大震災による震災関連費用を特別損失に計上したことなどから、当期純利益は72億91百万円(同0.1%増)となりました。

連結財務ハイライト

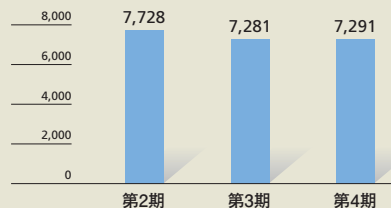
■ 売上高の推移 (単位:百万円)



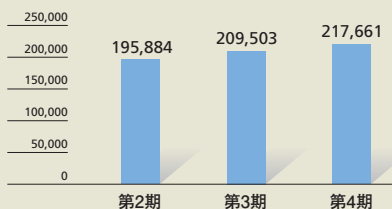
■ 経常利益の推移 (単位:百万円)



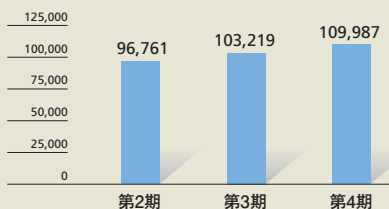
■ 当期純利益の推移 (単位:百万円)



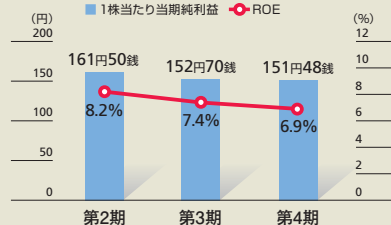
■ 総資産の推移 (単位:百万円)



■ 純資産の推移 (単位:百万円)



■ 1株当たり当期純利益・ROE



グループ経営戦略の方向性について

人々の健康と豊かな生活に貢献していくこと、「かかりつけ薬局」として地域医療に貢献することを目指してまいります。

1. 経営の基本方針

当社グループは、「1st for you. あなたにとっての、いちばんへ。」をグループ経営理念としております。この理念に基づき、私たちは美と健康の分野で、常に新しい付加価値の創造と心を込めたサービスにより、人々の健康と豊かな生活に貢献する企業を目指してまいります。

また、これからの高齢化社会を支えるため、当社グループではセルフメディケーションを推進し、お客様とその大切な人の健康を守る「かかりつけ薬局」として、地域医療に貢献していきたいと考えております。

2. 今後の戦略

当社グループは、厳しい環境下でも安定して利益を創出できる収益基盤を確立するため、次の2つの経営変革を推進してまいります。

(1) 事業構造の変革

当社グループのコア事業である「ドラッグストア事業」において、更なる収益力の強化と経営合理化の徹底により、新しい収益モデルへの転換を図ります。

当社グループは、生き残りをかけた熾烈な競争を勝ち抜くため、新しい郊外型ドラッグストアフォーマットを開発するなど、店舗競争力の強化と収益性の抜本的な改善に取り組んでまいります。また同時に、徹底したコスト削減やムダの排除など収益構造改革に取り組み、利益が出やすい経営体質に変えていきます。

(2) 意識・行動の変革

近年の厳しい経営環境の中、今一度、先駆者的存在として業界を牽引してきた創業時の原点に立ち戻り、お客様の期待の一步先をいく新しい顧客価値の創造を目指します。

当社グループは、環境の変化に即応したスピード経営と常に新しいことに挑戦しつづける革新的な企業文化の創造を目的に、経営体制の刷新と組織の若返りを図ってまいります。また、当社グループは、お客様に質の高いサービスを提供するためには従業員満足が重要との考えにより、組織の活性化と働きがいのある職場づくりに取り組んでまいります。

3. 当社グループの重点施策

当社グループでは、重点施策として3つの事項に取り組んでまいります。

(1) ドラッグストア事業の抜本的な収益改善

当社グループは、お客様に最高のサービスを提供できる売上規模と適正な利益の確保に取り組んでまいります。

- ①新規顧客の獲得によるシェア拡大
 - ・専門性・利便性・効率性のバランスがとれた郊外型ドラッグストアの業態開発
 - ・マツキヨならではの差別的優位性を明確にした新業態店舗の開発
 - ・将来ビジョン実現に向けた積極的な出店とM&A・フランチャイズ化の推進
 - ・地域に密着した「かかりつけ薬局」の推進と地域医療機関との連携強化
 - ・新たな事業機会の獲得に向けた海外成長市場の調査・研究
- ②既存顧客の維持と底上げ
 - ・お客様の生活圏全体の最適化を実現するエリアドミナントの形成
 - ・お客様の真のニーズに応える商品・サービスの提供

- ・地域特性に柔軟かつ迅速に対応できる狭小商圏型フォーマットの開発
- ・目配り、気配り、心配りのできる心のこもった接客サービスの提供

(2) 収益構造改革（ローコスト経営の推進）

当社グループは、徹底した経営の合理化・効率化の追求によりコスト競争力を強化し、高収益を確保できる強靱な経営基盤を構築してまいります。

変動費を削減する対策として、①スケールメリットを活かした仕入原価の低減、②付加価値の高いPB商品の開発と拡販による粗利益率の改善、③物流拠点の集約化と物流体制の再構築による物流コストの低減、また、固定費を削減する対策として、①グループ連携強化による間接部門のスリム化・効率化、②システム統合などグループ全体での徹底した

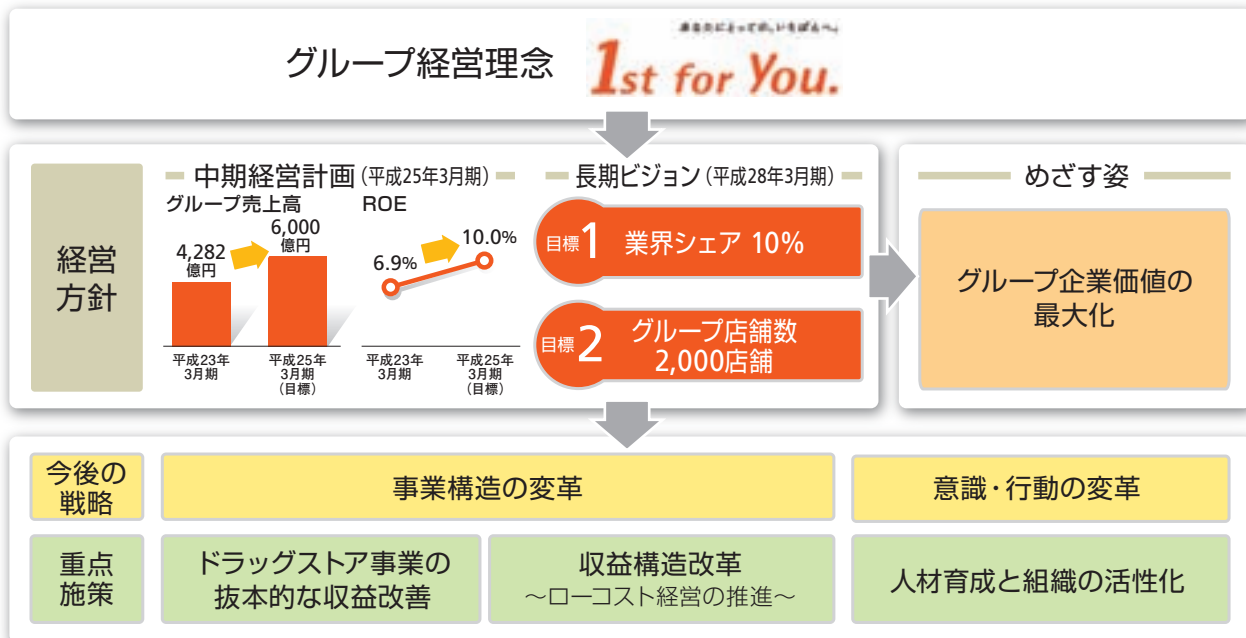
ムダの排除とコストの削減、に取り組んでまいります。

(3) 人材育成と組織の活性化

当社グループでは、経営者をはじめとする従業員一人ひとりの意識と行動を変革し、新しい顧客価値を生み出す組織能力の向上に努めてまいります。

具体的には、①新進気鋭の若手人材の積極的な登用、②未来を切り拓いていく次世代リーダーの育成、③自由闊達な企業文化の醸成、に取り組んでまいります。また、持続的な成長の原動力となる有能な人材を確保するため、働きがいのある職場づくりを目指し、さまざまな取組みを進めてまいります。

当社グループは、従業員満足が実現されてこそ、真の顧客満足を追求することができると考えております。



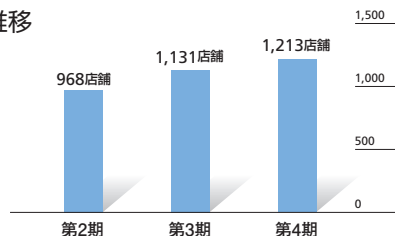
グループネットワーク



株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

店舗総数 >>> **1,213** 店舗 (平成23年3月31日現在)

店舗総数の推移



○ ネットワーク (平成23年3月31日現在)

株式会社マツモトキヨシホールディングス

小売事業会社

株式会社マツモトキヨシ	(本社) 千葉県松戸市
株式会社エムケイ東日本販売	(本社) 宮城県仙台市
株式会社ミドリ薬品	(本社) 鹿児島県鹿児島市
株式会社ラブドラッグス	(本社) 岡山県岡山市
株式会社ぱぱす	(本社) 東京都墨田区
株式会社マツモトキヨシ甲信越販売	(本社) 長野県岡谷市
株式会社トウブドラッグ	(本社) 埼玉県越谷市
株式会社中島ファミリー薬局	(本社) 長野県須坂市

卸売事業会社

株式会社茂木薬品商会	(本社) 東京都文京区
伊東秀商事株式会社	(本社) 千葉県松戸市

その他の
事業会社

株式会社エムケイプランニング	(本社) 千葉県松戸市
株式会社マツモトキヨシ保険サービス	(本社) 千葉県柏市
株式会社ユーカリ広告	(本社) 千葉県柏市

株式会社マツモトキヨシ

マツモトキヨシ

全国に
695店舗展開



関東エリア	555店舗
東海エリア	29店舗
関西エリア	55店舗
中国エリア	10店舗
四国エリア	5店舗
九州・沖縄エリア	41店舗

株式会社ミドリ薬品

株式会社 **ミドリ薬品**

九州・沖縄エリアに
138店舗展開



九州・沖縄エリア	138店舗
----------	-------

株式会社ラブドラッグス



関西・中国エリアに
39店舗展開



関西エリア	5店舗
中国エリア	34店舗

九州・沖縄エリア
マツモトキヨシ
ミドリ薬品

株式会社中島ファミリー薬局

Nakajima

甲信越エリアに
13店舗展開

甲信越エリア 13店舗



株式会社ぱぱす



関東エリアに
131店舗展開

関東エリア 131店舗



中国エリア

マツモトキヨシ
ラブドラッグス

北陸エリア

エムケイ東日本販売

甲信越エリア

マツモトキヨシ
エムケイ東日本販売
マツモトキヨシ甲信越販売
中島ファミリー薬局

四国エリア

マツモトキヨシ

関西エリア

マツモトキヨシ
ラブドラッグス

東海エリア

マツモトキヨシ

関東エリア

マツモトキヨシ
エムケイ東日本販売
ぱぱす
トゥブドラッグ

北海道・東北エリア

マツモトキヨシ
エムケイ東日本販売

株式会社マツモトキヨシ甲信越販売

マツモトキヨシ 甲信越販売

東北・甲信越エリアに
63店舗展開



甲信越エリア 62店舗
北海道・東北エリア 1店舗

株式会社エムケイ東日本販売

エムケイ東日本販売

東北・関東エリアを中心に
102店舗展開



北海道・東北エリア 26店舗
関東エリア 66店舗
甲信越エリア 7店舗
北陸エリア 3店舗

株式会社トゥブドラッグ

トゥブドラッグ

関東エリアに
32店舗展開



関東エリア 32店舗

東日本大震災への対応について

当社グループの状況について

東北・関東地域を中心に甚大な被害をもたらしましたが、当社グループは幸いにもお客様や従業員への被害はございませんでした。しかし、店舗においては、震災による店舗の休業や被災による営業自粛、商品配送・調達への混乱がありましたが、従業員の努力により、早期に営業を再開することができました。

当社グループの支援について

1 義援金の寄付

被災地への義援金としてグループで総額1億2,000万円を寄付いたしました。

2 支援物資の寄贈

被災地で多く要望があったマスク、アルコールハンドジェル、アルコール除菌ウェットティッシュ、生理用品、ベビー用紙オムツ等1,233万円分相当（平成23年3月31日時点）を寄贈いたしました。今後も、被災地の復興に向け、要望に応じた支援物資を寄贈してまいります。



3 義援金の募金活動

当社グループ各店に募金箱の設置や義援金へのポイント交換により、グループ全体で4,153万3,362円の義援金が集まりました。お客様からお預かりした義援金は被災地にお渡しいただくよう日本チェーンドラッグストア協会を通じて日本赤十字社に寄付いたしました。

4 節電

当社グループの節電に関する取り組みとしては震災直後より、店舗外灯の消灯、店内照明の減灯、本社・各社本部においても、通路や共有部分の照明を減灯するとともに、事業活動に支障のない範囲で節電に努めております。

5 被災者（学生）への雇用支援

平成23年4月11日から平成23年8月10日まで東日本大震災により、就職内定を取り消された学生及び被災したことで就職できなかった学生を対象に雇用支援を実施しております。

「鹿児島県奄美地方災害義援金」緊急募金寄託について

当社グループでは、平成22年10月25日～11月30日の計37日間にわたり、株式会社マツモトキヨシと、鹿児島県に本社を置く株式会社ミドリ薬品をはじめとする全国約1,200のグループ店舗及び本社で緊急募金活動を実施してまいりました。お客様からお寄せいただいた義援金、従業員・当社グループ各社からの義援金を合わせて被害に遭われた方々の復興支援にお役立ていただくため、12月10日鹿児島県知事伊藤祐一郎様に義援金を贈呈しました。

- ① 贈 呈 先 鹿児島県
- ② 贈 呈 日 平成22年12月10日（金）
- ③ 贈呈金額 221万1,267円



「こども110番の店」活動の実施について

当社グループでは、平成22年11月1日より未来を担う子どもたちを守る、安全・安心なまちづくりに貢献するため、「こども110番の店」活動を実施しております。当活動を実施することで、子どもたちを犯罪から守るとともに、子どもを狙った犯罪の抑止につながることを願っております。

主な活動内容

① こどもの保護

犯罪（声かけ・痴漢・つきまとい等）の被害に遭った、または、遭いそうになって助けを求めてきたこどもの保護。

② 110番通報

事件・事故の発生を認知したときに110番通報。また、警察の指示に基づく学校・保護者への連絡。

③ 緊急避難場所の提供

こどもが身の危険を感じた時（自然災害、いじめ等）に助けを求めることができる緊急避難場所の提供。

④ その他

ケガ・急病・迷子など、こどもの駆け込みの対応。



マツモトキヨシグループ山口県内初出店

当社、事業会社である株式会社マツモトキヨシは、シーモールエスト店（JR山陽本線下関駅前シーモールエスト内）を平成22年12月7日に山口県内第1号店としてオープンいたしました。これにより当社グループの出店エリアは全国44都道府県となりました。今後も当社グループはお客様ニーズや地域環境に対応した店舗づくりを展開するとともにグループシェア拡大を目指してまいります。

店舗概要

店舗名称：薬マツモトキヨシ シーモールエスト店
所 在 地：山口県下関市竹崎町4-4-7
営業時間：10時～20時
取扱商品：医薬品・健康食品・化粧品・日用品・雑貨等



マツモトキヨシ渋谷Part2店リニューアルオープン



当社、事業会社である株式会社マツモトキヨシは、渋谷Part2店を平成22年12月10日にリニューアルオープンいたしました。同店はこれまでのビルを刷新、マツモトキヨシの強みである都市型店舗のノウハウを結集し、ヤング女性からOL層をメインターゲットとした化粧品コーナーの拡充、ネイルやセルフフェイシャルエステを導入し、女性のお客様に更に満足いただける店舗へ生まれ変わりました。今後も当社グループはお客様ニーズや地域に合わせた店舗づくりを推進してまいります。

店舗概要

店舗名称：薬マツモトキヨシ 渋谷Part2店
所 在 地：東京都渋谷区宇田川町23-4
営業時間：10時～22時（4階ビューティーサロンは11時～21時）
取扱商品：化粧品・医薬品・健康食品・日用品・雑貨等

PB商品のご紹介

マツモトキヨシグループでは
プライベートブランド商品「MK CUSTOMER」
を取り扱っております。

MK CUSTOMERとは

セルフメディケーションをサポートするマツモトキヨシ
グループが、お客さま視点で開発したオリジナル商品です。

医薬品



エバレッシュ ホワイトEX

L-システインに加え、肌機能の正常化を助けるビタミン類の力でメラニン生成を抑制。服用しやすい小さなフィルムコート錠のビタミンC主薬製剤です。



サイシン胃腸薬

消化・排出を助ける3つの消化酵素と4つの健胃製剤が、胃の働きをスムーズにします。食べ過ぎ、飲み過ぎ、食欲不振、二日酔いなどに効果的。

化粧品

メラノサイエンス

メラニン包囲網がシミのもとメラニンに多方面にアプローチ。メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ化粧品（化粧水・乳液・クリームなど）です。



プレディエント

朝晩の「洗顔後・化粧水前」にお使いいただくプレ美容液です。ディープデリバリーカプセルが徐々に肌細胞の外側から溶けていき、長時間にわたり成分を放出するので、高い保湿効果が得られます。



連結財務諸表

● 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前期末 平成22年3月31日現在	当期末 平成23年3月31日現在
資産の部		
流動資産	90,954	94,665
現金及び預金	11,895	10,542
受取手形及び売掛金	10,703	11,643
商品	55,248	57,342
貯蔵品	1,368	1,775
繰延税金資産	2,786	3,082
その他	9,019	10,417
貸倒引当金	△ 68	△ 140
固定資産	118,549	122,995
有形固定資産	60,490	62,906
建物及び構築物	15,237	16,748
土地	41,657	41,488
リース資産	1,556	2,622
建設仮勘定	188	187
その他	1,850	1,858
無形固定資産	9,503	10,140
のれん	6,369	7,024
その他	3,133	3,115
投資その他の資産	48,555	49,949
投資有価証券	7,033	7,874
繰延税金資産	3,987	4,192
敷金及び保証金	35,012	35,541
その他	3,520	3,340
貸倒引当金	△ 998	△ 999
資産合計	209,503	217,661

科 目	前期末 平成22年3月31日現在	当期末 平成23年3月31日現在
負債の部		
流動負債	86,449	80,454
支払手形及び買掛金	55,141	54,812
短期借入金	8,569	6,400
1年内返済予定の長期借入金	5,218	372
リース債務	473	859
未払法人税等	4,664	3,437
賞与引当金	2,505	2,635
ポイント引当金	1,804	2,122
資産除去債務	－	4
その他	8,071	9,810
固定負債	19,835	27,219
転換社債型新株予約権付社債	－	15,000
長期借入金	11,086	752
リース債務	1,365	2,166
繰延税金負債	1,033	1,141
退職給付引当金	4,474	846
役員退職慰労引当金	57	－
資産除去債務	－	3,338
その他	1,817	3,975
負債合計	106,284	107,673
純資産の部		
株主資本	102,782	109,483
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	74,660	80,289
自己株式	△ 14,830	△ 13,757
その他の包括利益累計額	△ 915	△ 1,061
その他有価証券評価差額金	△ 915	△ 1,061
新株予約権	－	8
少数株主持分	1,352	1,555
純資産合計	103,219	109,987
負債・純資産合計	209,503	217,661

1 財政状態の状況

- 当連結会計年度末における資産合計は2,176億61百万円となり、前連結会計年度末と比較し81億57百万円増加となりました。主な増加要因は、商品20億94百万円、建物及び構築物15億11百万円、リース資産10億66百万円、受取手形及び売掛金9億40百万円です。
- 当連結会計年度末における負債合計は1,076億73百万円となり、前連結会計年度末と比較し13億89百万円増加となりました。主な増加要因は、転換社債型新株予約権付社債150億円、資産除去債務33億42百万円です。主な減少要因は、長期借入金151億79百万円です。
- 当連結会計年度末における純資産合計は1,099億87百万円となり、前連結会計年度末と比較し67億67百万円増加となりました。主な増加要因は、当期純利益72億91百万円、自己株式10億72百万円です。主な減少要因は、配当金14億35百万円です。

2 業績の状況

- 当連結会計年度の業績は、厳しい経済環境ながらも、顧客ニーズに合った商品の展開、猛暑によるUVケア等のシーズン商品の大幅伸長、花粉飛散量の増加による関連商品の拡大、新規出店による寄与、前期末でのM&Aによる子会社化などにより、売上高が対前年同期比で9.0%増加いたしました。
- また、新たに3社を連結したことに伴う費用増加などから販売費及び一般管理費は増加したものの、効率的かつ効果的な販売促進活動による広告宣伝費の抑制、店舗運営の効率化を図ったことにより、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ対前年同期比で3.9%・3.8%・0.1%増加いたしました。

3 キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローは112億66百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前当期純利益144億3百万円、減価償却費42億85百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額23億14百万円、敷金及び保証金の家賃相殺額15億97百万円です。主なマイナス要因は、法人税等の支払額90億39百万円です。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは61億35百万円の支出となりました。主なプラス要因は、敷金及び保証金の回収による収入9億36百万円です。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出32億61百万円、敷金及び保証金の差入による支出20億98百万円です。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは58億11百万円の支出となりました。主なプラス要因は、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入149億66百万円です。主なマイナス要因は、長期借入金の返済による支出165億51百万円、短期借入金の純減少額25億18百万円、配当金の支払額14億35百万円です。

● 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	393,007	428,184
売上原価	285,286	308,954
売上総利益	107,720	119,230
販売費及び一般管理費	92,807	103,738
営業利益	14,913	15,491
営業外収益	2,565	2,456
営業外費用	625	451
経常利益	16,852	17,497
特別利益	134	1,346
特別損失	2,833	4,439
税金等調整前当期純利益	14,154	14,403
法人税、住民税及び事業税	7,493	7,228
法人税等調整額	△ 817	△ 303
少数株主損益調整前当期純利益	—	7,478
少数株主利益	196	186
当期純利益	7,281	7,291

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,555	11,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,015	△ 6,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,648	△ 5,811
現金及び現金同等物の増減額	△ 108	△ 680
現金及び現金同等物の期首残高	11,331	11,222
現金及び現金同等物の期末残高	11,222	10,542

株式に関するご案内

単元未満株式の買増及び買取制度について

当社は、平成22年7月1日より新たに単元未満株式の買増制度を導入いたしましたので、ご案内いたします。

買増制度の概要

株主様がご所有の単元未満株式を単元株式（100株）へするために必要な数の株式を当社より買増する制度です。

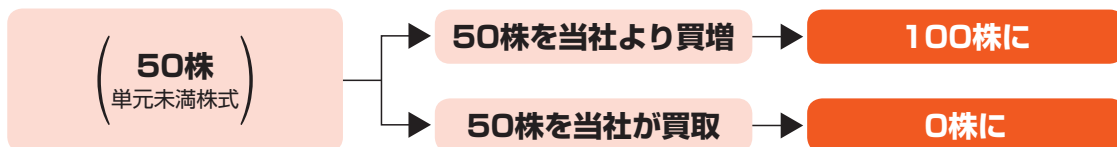
※3月31日・9月30日・その他機構が定める株主確定日等を含む各々それ以前の10営業日の間は受付を停止させていただくほか、当社が別途、買増請求期間を設ける場合がございます。詳細につきましては、お取引のある証券会社等にご確認ください。

買取制度の概要

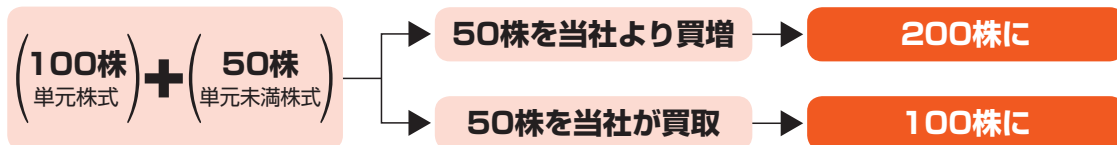
株主様がご所有の単元未満株式を当社が買取の制度です。

買増制度及び買取制度の事例

当社株式を50株ご所有の場合



当社株式を150株ご所有の場合



手続方法

- ご所有の株式を証券口座で管理されている株主様の場合 → 株式を管理されている証券会社へお問合せ下さい。
- ご所有の株式を特別口座で管理されている株主様の場合 → 三菱UFJ信託銀行株式会社へお問合せ下さい。（連絡先：0120-232-711）

単元株式（100株）にすると次の事項が可能となります。

- 株主総会での議決権行使が可能となります。
- 当社の株主優待制度を受けることが可能となります。
- 市場で取引することが可能となります。

株式の状況・会社概要

(平成23年3月31日現在)

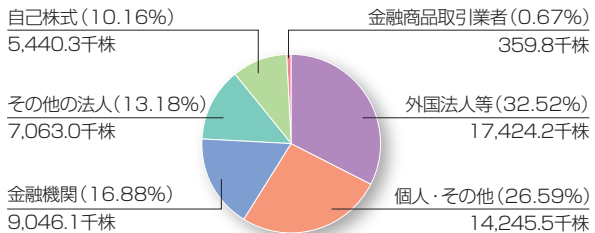
株式の状況

■発行可能株式総数	210,000,000株
■発行済株式総数	53,579,014株
■株主数	16,752名
■大株主（上位10名）	

株主名	保有株式数 (単位：千株)	持株比率 (単位：%)
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウン アメリカンクライアント(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5,797.9	12.04
松本鉄男	5,615.4	11.67
松本南海雄	4,172.4	8.67
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユーエスタックス エグゼクティブデベロップメントファンズ(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	2,178.0	4.52
株式会社千葉銀行	2,147.8	4.46
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	1,950.8	4.05
株式会社南海公産	1,743.5	3.62
エーザイ株式会社	1,407.5	2.92
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223 (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	1,305.5	2.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,188.9	2.47

(注) 1. 当社は自己株式5,440.3千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数(48,138.7千株)を基準
に算出し、小数第3位以下を四捨五入して記載しております。

所有者別株式状況



(平成23年3月31日現在)

会社概要

名 称	株式会社マツモトキヨシホールディングス
所 在 地	〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1
電 話 番 号	047-344-5110 (代表)
設 立	平成19年10月1日
資 本 金	210億86百万円
事 業 内 容	子会社の管理・統轄および商品の仕入・販売
従業員数(連結)	正社員： 5,036名 パート： 6,952名(8時間換算) 合 計：11,988名

(平成23年6月30日現在)

役員

代表取締役会長兼社長	松本 南海雄
専務取締役	成田 一夫
専務取締役	松本 清雄
取締役相談役	松本 鉄男
取締役	根津 孝一
社外取締役	大爺 正博
社外取締役	小林 諒一
社外取締役	大山 健一
監査役(常勤)	大森 哲夫
社外監査役	鈴木 哲
社外監査役	諸星 健司



本社

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
1単元の株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード3088)
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式の買増・買取手続きに関するご案内は13ページをご参照ください。

株主優待制度拡充のお知らせ

平成22年11月12日開催の取締役会において、当社の株主優待の贈呈回数を
年1回から2回に変更することを決議いたしました。

つきましては、マツモトキヨシの全店舗でご利用いただける「商品券」を
同封いたしましたので、是非ともご利用くださいますようお願いいたします。

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1

TEL. 047-344-5110 (代表)